

## 言葉や表現を考えよう

日常使っている言葉や表現も、ほんの少し意識して考えてみましょう。

これまでの長い歴史の中で、いつのまにか私たちの日常生活に浸透してしまって気づかなかつたことが見えてくるかもしれません。

### 男のくせに、女のくせに

人の感情や性格は、生まれたときから性別によって決められているのでしょうか？

### うちの主人が…

「主人」の対になる言葉は  
「使人」？  
妻と夫は、対等な  
関係のはずなのに？

### 職場の花

職場にいる若い女性のことを  
指す言葉らしいけど、  
花ってどういうこと  
なのでしょう？  
ただの飾りってことでは  
ないですよね？

### 女の腐ったの

優柔不断な男性をけなす  
言葉らしいけど、  
裏を返せば女性は優柔不断だって  
決めつけているのでしょうか？

### 男は度胸、女は愛嬌

男は強くないといけない、  
女は愛想がよくないといけないって  
決めつけられているように  
感じませんか？  
ほめ言葉のつもり？

### 男泣き

女泣きとは言わないし、  
聞いたこともないですね。  
男の人だって泣きたいときは、  
おもいきり泣いてもいいですよ。

どうしてもその言葉や表現を使いたいとき、  
もう一度、相手の気持ちを考えて、  
他に適切な言い方がないか検討してみましょう。



# ・・・・・ 言葉のイメージ

## あなたは、どんな印象を受けますか？

言葉は時代の流れに沿って変わりつつあり、現実をつくり変える力を持っているのではないか、と私たちは考えます。周りを見まわし、「必要以上に性別や役割を強調する表現は必要か？」という視点から、市民のみなさんといっしょに、見直したい言葉や表現について、よりよい表現ができないかを考えました。

こんな言葉や表現を…	例えば、こんなふうに…	考えるポイント
保母・保父	保育士	
看護婦	看護師	法律上の表現が既に改められた言葉です。正しい表現をしましょう。
保健婦	保健師	
助産婦	助産師	
女社長・女子社員	社長・社員	
女医	医師	合理的な理由もなく女性冠詞をつけて女性を強調する言葉です。職業名や地位は、男性と同じ表現にしましょう。
女性議員・女性弁護士	議員・弁護士	
女流作家	作家	
サラリーマン・OL	会社員	
行政マン	公務員	
営業マン	営業社員・営業スタッフ	現実的には男性も女性も存在するのに、単語の意味は男性だけ、女性だけを示すものです。どちらの性別でも対応できる表現にしましょう。
カメラマン	写真家・撮影スタッフ	
オンブズマン	オンブズパーソン	
兄弟	兄弟姉妹・きょうだい	
父兄	保護者	
スチュワーデス	客室乗務員	
OB・OG	出身者	
美人キャスター	キャスター	職務や能力に無関係な容姿に触れた表現が必要でしょうか。
美人秘書	秘書	
ご主人・亭主	配偶者・夫・つれあい・パートナー	
奥さん・女房・家内	配偶者・妻・つれあい・パートナー	主従関係や役割分担をイメージさせるような言葉です。原則フルネームで表現するなど、個人を尊重した表現に心がけましょう。
嫁・婿	息子(子)の妻・娘(子)の夫	
舅・姑	夫(妻)の父・夫(妻)の母	
嫁ぐ	結婚する	家制度にとらわれた表現のように感じます。
嫁にやる(もらう)		
婦人	女性	
未亡人・寡婦	夫をなくした人	性別で対になる表現がない(男性にはない)言葉は、できるだけ避けましょう。他に適切な言い方がないか考えましょう。
人妻	既婚者	
他にも、男らしい決断力や女らしい気配り、男勝り、女性ならではなど性別のイメージで個人の特性を決めつけるような言葉や表現は避けましょう。		

### ●上記以外にも、何気なく使っている言葉や表現がないか考えてみましょう。

特定の表現を禁止する、ということではなく「男性はこう、女性はこう」という偏った意識づけをしないことが大切です。男女共同参画の視点では、“男女の多様な生き方を認めることのできる社会を形成する”ために、どのような表現がより望ましいかを考え、より適切な表現に向けて工夫を重ねることが大切だと考えます。